

企業と大学が協働するPBLのいま ～ 3大学における体験型学習の事例 ～

- ▼PBL(Project Based Learning:課題解決型学習)の導入の必要性と有用性が喧伝されて久しく、多くの大学の教育現場に取り入れられている。
- ▼一口にPBLと言っても、その実際のプログラムは極めて多様で、その効果もさまざまである。それらの多くの経験を共有して、それぞれの大学に適したよりよいPBLのあり方を探りたい。
- ▼今回は、3大学で実績のあるPBLの実例を紹介し、お互いに学び合う機会としたい。特に、体験学生の率直な感想は、今後のプログラムの改善のヒントとなるであろう。
- ▼また、PBLには不可欠な企業等のPBLへの参画の在り方についても議論したい。

室蘭工業大学 相棒型PBL	<ul style="list-style-type: none">* 学士修士一貫教育プログラムに参加する修士1年生が地域企業の生産活動の一端を体験的に学習。* 特徴は、学生2人～3人がひと組(“相棒”)となり、生産現場等で課題抽出から解決策立案・実施までを目指すこと。
秋田県立大学 経営システム工学 実践型演習	<ul style="list-style-type: none">* 経営システム工学を学ぶ3年生チームが、実店舗の活性化や製造現場の改善をテーマに、現場の依頼主とのインタビューを通して、問題の発見と改善策を探る活動を行う。* 学生の体験談、企業の期待について紹介。
電気通信大学 GLTP:グローバル リーダー育成プログラム	<ul style="list-style-type: none">* 対象学年は、学域3年生～修士2年生。 目的は、産業界の中核になるマインドとグローバルな視野を持つ技術者・研究者の育成。* 特長は、学域4年生の後学期に行う国内外でのインターンシップ。

*日 時 2022年11月18日(金) 16:30～18:30 / 参加費 無料

*方 法 オンライン(zoom)

*申 込 <https://bit.ly/3SaWh1D>

QRコードはコチラ →



*プログラム

16:30～16:35 開会のご案内

16:35～16:50 そうなんだ(11)

スーパー連携大学コンソーシアム 梶谷 誠 会長

16:50～17:50 各大学のPBL参加学生の体験報告(1大学20分)

室蘭工業大学 体験学生報告/総評: 柴田 義光 准教授

秋田県立大学 体験学生報告/総評: 嶋崎 真仁 教授

電気通信大学 体験学生報告/総評: 阿部 浩二 教育・国際戦略担当理事

17:50～18:20 パネルディスカッション

モデレータ 秋田県立大学 堂坂 浩二 教授

パネリスト 事例報告者のみなさん

18:20～18:30 閉会挨拶

秋田県立大学 小林 淳一 学長